

- ◆企画名 2012年春学期特集本
日程 平成24年5月9日(水)～6月29日(金)
場所 関西大学総合図書館2階開架カウンター横レンガ壁付近
参加者数 12名(ピア・サポータ)
目的

- ・学生に図書館の蔵書に興味を持ってもらう機会をつくる。
- ・本を選ぶための情報提供をし、資料を選びあぐねている利用者の手助けとなる。
- ・関西大学に関わる方々によって制作されている『書評』とコラボレーションし、読書を通じたコミュニケーションをはかる。

内 容

- 企画概要 関大生協が発行している『書評』を取りあげて特集を組み、紹介文と書評に関する資料を展示した。
- 展示場所 図書館2階開架カウンター横レンガ壁付近
- 展示方法
 - ・1カ月の入替制で展示を行った。
 - ・紹介文は書評134～136号に紹介されている本、もしくは関連本で作成。平置きで本とともに展示。
 - ・書評に関する資料として、書評担当者様から
 - ①縮刷版②過去の表紙③過去の『書評』(100、119～135号)をお借りし展示。
 - ②については、ファイルに入れて展示した。
- 広報 ①図書館内にポスターを掲示。
②インフォメーションシステムのお知らせで告知。

感 想

本企画は、学生に『書評』を手にとってもらい、読書を通じた関大内のコミュニケーションをはかることを目指した企画であった。『書評』担当者様に協力して頂いて資料を充実させることができ、紹介文の数も多く準備できたので、特集本企画の課題としてあった棚のさみしさは軽減できたと思う。

企画担当者としては、『書評』担当者様が『書評』を紹介することを快く受け入れて下さり、KU コアラサポータの事後懇談会を企画して下さるなど、こちらの考えていた以上に企画に対してご協力頂けたことが印象に残っている。同じ本や読書に関わる活動をしているという点が大きかったのではと思う。他大学の図書館で同様の活動をしている団体があれば、コラボレーション企画を申し込んでみるのも面白いかもしれないと感じた。

改 善 点

- ・展示場所の問題—利用者の動線を妨げない場所ではあったが、目立ちにくかった。
- ・上記の問題点をカバーするための広報不足
 - 改善案 ①図書館外での広報②図書館入口から展示場所までポスターを貼る。
- ・来館者の反応をはかるものがなかった。
 - 改善案 ①アンケートの設置②ラックの段ごとの貸出冊数を控える。
- ・紹介文を作成していなかった展示本が書架に戻っていた。
 - 本の背表紙に小さなシールを貼り、本棚に戻すようにする。
- ・展示作業のもたつき
 - 展示作業をスムーズにするため、掲示板、机の大きさなど測っておき、掲示物の配置を事前に考えておく。